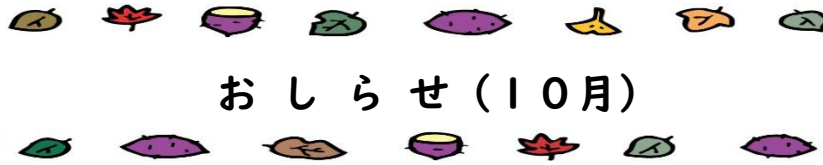


保護者の皆様



おしらせ(10月)



松田町立松田幼稚園

○公開保育研究会 10月8日 (全職員)

5月に引き続き、こども教育宝仙大学の守巧先生をお迎えし、公開保育研究会が行われました。今年度の研究テーマである「夢中になって遊ぶための環境構成の工夫」について、また日頃の支援で悩んでいることに対して、わかりやすく丁寧にご指導いただきました。

翌日から早速、保育室のコーナーを見直したり、ホールを活用したりなど、指導されたことを保育に取り入れています。とても有意義な研究会となりました。

○交通安全教室 10月16日 (全園児)

初めにホールで警察の方による、ねこが女の子を助けるDVD「できるにゃん」を視聴しました。交通安全について子どもたちが考える場面がたくさんあり、みな真剣な眼差しで聴いていました。

その後園庭で歩行訓練を行いました。信号のある横断歩道では右左をよく見て落ち着いて渡ることができていましたが、信号のない横断歩道では渡るタイミングがわからず迷っている様子がありました。特に年少児は1人で判断することが難しく、友達と手をつないで渡っている姿も見られました。終了後にパトカーの中を見せてもらうと憧れは募り「大きくなったら警察の人になりたい」と目を輝かせて話していた子もいました。

今後も定期的に交通ルールを確認しながら交通安全の意識を高めていきます。



○いもほり 10月22日 (全園児)

5月に年長児が植えたさつまいもの苗が収穫の時期を迎えました。ふさふさとした葉のついたつるを一生懸命引っ張っても、なかなかおいもは出てきません。「だれか手伝って〜」「よいしょ!よいしょ!」みんなの協力でやっと出てきたおいもは自分の顔ぐらい大きかったり、かぼちゃみたいなハートの形だったり・・・先生見て見て」と興奮した声があちこちから聞こえてきました。初めは手が汚れるのを気にしていた子も、周りの土を掘りながらだんだん顔を見せてくると、思わず夢中で掘る様子が見られました。時々幼虫やカニも姿を見せてみんなを驚かせていました。

掘った後はつるを使って縄跳びや引っ張りっこをしたり、リースを作ったりなど自然と十分触れ合って遊びました。ダイナミックな体験は表現活動にもつながりました。大きな紙に絵を描いたり、新聞紙を丸めておいもを作り、収穫してやきいもにしたりなど様々な活動へと発展しました。



○お弁当の日(中井中央運動公園) 10月24日 (全園児)

さわやかな風が心地よい秋晴れのなか、園バスに乗ってでかけました。長い階段を上った先には長いローラー滑り台が待っています。初めは怖がっていた子も友達や先生と一緒に滑ると、いつの間にか笑顔になり、「もう1回行ってくる!」と何回も繰り返し滑っていた子もいました。他にもターザンロープ・ロープ上り・コンビネーション遊具など自分がやりたい遊具に挑戦していました。「おなかすいた〜」と休憩したすぐ近くには、園庭のクヌギとは違った小さいドングリがあちこちに落ちていて、一休みしながら一生懸命拾っていました。お家の人が作ってくれたおいしいお弁当はあっという間に食べ終わり、年長児はもう一度遊具に向かって走って行きました。

自然の中で思い切り体を動かしながら遊具に挑戦したり、異年齢の自然な交流が見られたりなどとても有意義な園外保育となりました。



○町文化祭参加 10月26日 (年長児)

生涯学習センターの大ホールで、年長児が運動会で踊ったダンスを披露しました。前日のリハーサルで舞台監督にほめられたことで、ますます自信をもって臨んだ当日。園庭とは広さも違い、ラインもない中でしたが、ノリノリで3曲踊ることができました。場所が違って臨機応変に対応し、堂々と表現できた年長児はさすがでした。

○やきいもパーティ 10月31日 (全園児・保護者)

数日雨模様が続き心配でしたが、子どもたちが作ったてるてる坊主のおかげで当日は秋晴れとなり、絶好のやきいも日和となりました。登園後すぐに新聞紙でいもを包みアルミホイルを巻いて熾火になった火にいもを投げ入れました。その後甘いにおいができてホカホカのやきいもが出来上がりました。「おいしいね」「甘いね」と言いながら、全部食べてしまいおかわりをしていた子もいました。

今年はPTA役員さん協力のもと保護者自由参加とし、ハロウィンの仮装をしながら親子で秋の味覚を楽しみました。同時に無人販売したさつまいもの収益で、年長児は園外保育を計画しているようです。たくさんの保護者の方のご参加、ご協力ありがとうございました。

